

第3回情報連絡会技術提案					
	企業者等名称	技術提案	提案概要	お問合せ先	関連提案番号
1	合同会社JPS	準天頂衛星活用によるセンチメートル級単独測位システム	調査・計画・施工・維持管理など、各段階における3次元位置計測を省人化・省力化するための技術です。 緯度・経度等の一般的なGNSS機器の計測値の他、日本国内並びに海外の一般的な測量用の平面直角座標にも対応した3次元計測が可能。 準天頂衛星 精度補強信号を活用したセンチメートル精度単独測位が可能なGNSS受信機により上空視界さえあれば日本全土で計測でき、計測値はCADやGISなど既存の図面化システムへ容易に展開可能なため、現況物の位置計測はもちろん計画構造物の現地位置決め（測設）等にも適した、汎用性の高い簡易測量システムです。	担当部署 開発部 電話番号 050-5806-2083 E-mail jps@qzs4survey.com	（パネル展示） 提案番号1 （クラウド展示） 提案番号1
2	東京電設サービス株式会社	ロボットを活用した水管等の点検・診断技術	水管橋や水路橋などの維持管理においては、目視による点検が広く行われていると思いますが、設備の劣化が進んでいく中では、目視では確認しきれない管厚や内部状況の把握を行って行くことが有効と考え、弊社開発のロボットにて測定・点検の実施をご提案いたします。 ロボットによる測定・点検の為、足場設置が不要であり、足場費用削減による継続的な測定・点検も可能となり、取得したデータの蓄積によりトレンド管理が可能となります。 ・ロボットが自走するので足場は不要 ・タイヤに永久磁石を採用しており、管に吸着するため、管軸方向・周方向共に自走します。 ・カメラによる目視点検も同時に実施 ・ロボットにカメラを装着する事により管厚測定と同時に目視点検を行います。 ・測定結果のビジュアル化 ・1mmピッチで測定するため、多量なデータをビジュアル化する事により、直感的に設備状態の把握が可能となります。	担当部署 土木事業本部 電話番号 048-638-5092 E-mail doboku01@tdsnet.co.jp	（発表） 提案番号1 （パネル展示） 提案番号2 （クラウド展示） 提案番号2
3	株式会社栗本鐵工所	自動排水装置による管路滞留部水質維持業務の効率化	管路滞留部における、水質維持管理業務の効率化に寄与する装置のご提案です。 水道管路の滞留水対策として、一般的に常時排水や作業員による定期排水が行われていますが、無収水量の増加や、滞留箇所が遠方に位置する場合は作業員の労務負担などの課題があります。本装置は、タイマー制御式の電磁弁により定期排水を自動で行うことで水質維持効果を得ると共に、無収水量の削減および労務負担の軽減が期待できます。 本装置は、口径25mmメーターBOX内に収納可能なコンパクトな形状で、電源は9V乾電池1個で約1年間の運用が可能であり、IP67相当の防水性能を有していることから、取り扱いが容易で設置場所の制約を受けません。また、装置内に組み込まれた量水器にはOCR式遠隔検針装置などの取り付けが可能ですので、そのような機器を用いることで、遠隔での排水量確認や装置の作動結果の確認が可能となります。 排水条件は、設置場所の管路条件や平均水温等の情報に基づき、夏期と冬期のそれぞれで適正な条件を決定します。排水条件は現地にて自由に変更することが可能で、残留塩素濃度減少傾向等のより詳しい情報を用いて設定することで、さらに効果的な運用を行うことも可能です。	担当部署 パイプシステム事業部 管路ソリューション部 開発グループ 電話番号 06-6686-6513 E-mail msy_yamamoto@kurimoto.co.jp	（パネル展示） 提案番号3 （クラウド展示） 提案番号3
4	エヌエスティ・グローバルIST株式会社	LPWA(LoRa)通信 SpreadRouter	当社無線技術である「250mW高出力無線」により、鉄蓋マンホールを通過させて地上基地局にデータ通信を可能となります。また、中継局を最大12台まで介在させられることで広範囲のデータ通信エリアが可能となります。 250mW対応した製品：“ SpreadRouter-AまたはSpreadRouter-MW” は、アナログ（4-20mA、0-5V）、デジタル接点、RS232C/RS485計測機器など各種センサー・計測機器のデータ取得ができるインターフェースを標準装備しております。	担当部署 スマートIoT事業部 電話番号 03-5949-4711 E-mail ksakamoto@nstg.co.jp	（パネル展示） 提案番号4 （クラウド展示） 提案番号4
5	株式会社ミラテドローン	ドローンによる水管橋点検サービス	・ドローンを使うことで特殊車両・仮設足場が必要な箇所も点検が可能 ・赤外線カメラによる、設備（漏水等）の温度変化を見える化 ・撮影画像に合わせてAI解析の活用（ひび割れ、サビへの対応） ・写真データに経度緯度が記録されるので、同じ場所の経年劣化を確認可能 日本各地で対応可能ですので、ご興味ございましたらご連絡ください。 費用：50万円～（税抜）＋交通費・旅費	担当部署 営業本部 電話番号 078-940-0307 E-mail info@miratecdrone.co.jp	（発表） 提案番号2 （パネル展示） 提案番号5 （クラウド展示） 提案番号5
6	株式会社日立製作所	AIを用いた凝集剤注入支援技術	事業環境の大きな変化に伴い、一層の業務効率化が求められています。弊社は監視データとAI技術などを用いた凝集状態の診断と支援への応用を推進中です。本技術によって熟練者でなくても凝集に係る適切な判断を可能とし、一層の安定運転に貢献します。 原水水質予測技術：ディープラーニングを用いて、運転実績データと環境条件(天候・水源)などのオープンデータから予測モデルを構築しました。数時間先の原水の状態を予測することで、良好な水質を得るための客観的で適切な運転を支援することが可能です。 凝集剤注入支援技術：凝集剤注入率の予測技術として、従来の知見を反映した近似式とニューラルネットワーク(NN)を組合せたモデルを新たに考案しました。近似式を用いない従来型技術に比べ、想定外の高濁度原水流入など学習データがないケースであっても、原水濁度との関係性を維持した凝集剤注入率予測が可能となります。	担当部署 水・環境ビジネスユニット 水事業部 ソリューション 事業推進部 電話番号 03- 5928-8089 E-mail（問合せフォーム） https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/water/jp/water_environment/form.jsp	（パネル展示） 提案番号8 （クラウド展示） 提案番号8
7		フィジカルセキュリティ・課題解決ソリューション	カメラで撮影された人やモノを、画像解析技術を活用することで認識し、人の異常行動や、背景差分によるモノの異常状態(置き去りや倒れ等)を抽出し、価値として提供します。		（パネル展示） 提案番号10 （クラウド展示） 提案番号10
8		マルチコンタクトセンターソリューション	コンタクトセンター業務の効率化として、電話交換機能をはじめ、通話録音、IVR、FAXなどの各機能を一つのサーバーにまとめた製品「TELEPHONYMASTER」を提供しております。また、それを中核にした多種多様なオプション機能により、應對業務の自動化や、オペレーターのリモート勤務等、コンタクトセンターのニーズにお応えします。		（パネル展示） 提案番号12 （クラウド展示） 提案番号12
9		作業教育ソリューション	お客様でお持ちの業務映像資料や、現場で起こったことを撮影した動画を保管するためのクラウド基盤をご提供します。 現場での作業手順や事故事例の再現動画を撮影することで、具体的に動画教材を作ることができます。抽象的な文章ではなく、映像で見て視覚的に理解でき、また「スマホのカメラで撮影するだけ」で教材が作成できるので、学び側・教える側ともに利点のある教育方法です。		（クラウド展示） 提案番号13
10		設備・資産管理システム「SmartFAM」	保全業務において、PDCAサイクルを実現するために必要な機能を、オールインワンで提供するパッケージです。 設備管理や資産・物品の台帳管理等、多様な用途でご利用頂けます。モバイル端末用の専用アプリにより現場点検業務の効率化、設備稼働データ収集のオプション機能により設備の稼働状況を迅速に把握する、等のサブ機能も備えております。		（パネル展示） 提案番号11 （クラウド展示） 提案番号11
11		設備点検自動化サービス（異音検知）	設備の安定稼働を支える点検は、企業経営に直結する重要な業務です。しかし、点検作業員の「人手不足」や「技能伝承」、設備老朽化による「点検工数の増加」など、現場で直面している課題は山積みで、突発的な設備停止リスクを低減させるための実践的な対策が急務となります。そこで、これまで熟練技能者の「感覚」に頼っていた聴音点検業務に「デジタル」を活用し点検品質のばらつきをなくして均一化する「異音検知ソリューション」をご紹介します。		（パネル展示） 提案番号7 （クラウド展示） 提案番号7
12		体感型VR教育	VR技術を活用することで、リアルな疑似体験を通して業務を学べる能動的な学習を提供します。受講者自身が主体的な学習をすることで、学習効果・理解度の高い教育ができます。 既存教材としてのVRをご提供する手法と、お客様の現場環境を一からVRで作り上げ、より実際の業務に近い学習環境をご提供する手法を取っております。		（クラウド展示） 提案番号9
13		地下埋設インフラの管理・新設・更新作業のDX化を支援する「地中可視化サービス」	本サービスは、地下埋設物の位置などを独自に収集、データベース化、3次元可視化し、道路占用事業者（上下水道、ガス、電気、通信など）、設計事業者、施工会社などに対し、統合的に地下埋設物の情報を提供するものです。 地下埋設物は管理が難しく、位置把握のために図面を収集しても、道路の拡張などにより基準点がズレていたり、図面情報と実際の埋設結果が異なる場合があります。 掘り起こしを伴う工事では試掘などの目視確認を行いますが、施工時に埋設管損傷などの事故が頻発しています。 このような課題を解決するため本サービスでは、埋設されている管の位置情報をレーダーで取得・AIを用いて解析を行うことで、図面情報ではなく実際の埋設物の位置を基にしたデータベースを構築します。本データを利用者に閲覧いただくことで、埋設物の正確な位置把握や、各種埋設物の一元管理を支援します。 web上で場所を問わずデータを閲覧できるほか、3次元可視化により、熟練者に限らず経験が浅い方も直観的に状況を把握することができます。		（発表） 提案番号6 （パネル展示） 提案番号6 （クラウド展示） 提案番号6
14	一般社団法人 日本水中ロボット調査清掃協会	水中ロボット工法	型式認定された水中ロボットを使った工法は配水池を運用したまま安全かつ衛生的に内部の調査及び沈殿物の清掃を行う事ができる。【導入効果】1. 貴重な飲料水を大量に排水しないため無駄にならず環境負荷が少ない。2. 配水池内部の構造物や配管類の調査清掃を行い写真・映像で記録し報告する。3. 当協会が制作した技術指針、ハンドブックに基づいて作業に当たるので会員が統一した安全な施工が行える。4. バルブ操作が必要ないので破損、漏り発生の抑止が可能。5. 配水池が空でないので地震時でも緊急給水が可能。6. 毎年行っている技術講習会、資格検定試験により水道技術を取得した水中ロボット清掃施工管理技士が施工する。7. 本工法は人と水道水が直接接しないため、新型コロナウイルスについても影響を受けない。	担当部署 技術委員会 電話番号 03-6271-0103 E-mail info@jwrca.or.jp	（パネル展示） 提案番号13 （クラウド展示） 提案番号14

15		IoTを活用した漏水の監視・探知・修繕を迅速化する漏水管理トータルマネジメント技術	①IoT遠隔漏水監視システムリークネットワークセルラーが水道管路の漏水又は疑いのあるエリアを迅速に特定できます。現在一般的に実施されている音聴作業や管路選別作業では、データの収集や、音聴作業は現地にいかないと漏水が確認できません。IoT遠隔漏水監視システムリークネットワークセルラーは毎日どこでも漏水発生を確認することができ、漏水を迅速に特定することが可能となります。また、その日の音圧値に変化が生じ場合には、独自のアルゴリズムによって解析し、異常と判断された場合にはアラートメールが届く仕組みとなっていますので、迅速な初動調査を行うことが可能となります。 ②GPS搭載デジタル4点リアルタイム相関式漏水探知器LC-5000のオプションセンサーである高感度マイクroフォンが従来大口径漏水の課題であった「漏水音の減衰がおおきい」「付帯設備が少ない」「地面から漏水音を細くできない」といった課題を解決し大口径管路の漏水を発見いたします。③地理空間情報プラットフォーム IQGEO Platform Cappa-viewを情報共有ツールとして活用することで、漏水発見から修繕までの業務を効率化及び迅速化できるとともに漏水管理のトータルマネジメントが可能となります。		(発表) 提案番号3 (パネル展示) 提案番号15 (クラウド展示) 提案番号16
16	フジテコム株式会社	相関式漏水探知器LC-5000	従来の相関式漏水探知器の課題であった、漏水があると思われる箇所をセンサーで絞り込む2点型は複雑な管路に対応しづらい、あらかじめセンサーを設置しておいて後で相関処理を行う多点型は即時結果を求められないという点を解決いたしました。特徴としましては、①6経路分の相関処理を一度に行うことにより作業スピードが大幅に向上し、かつ複雑な管路の相関処理を1度に行うことが可能となり、現場調査の大幅な迅速化を実現しました。②プリアンプの中継機能を使用することで長距離無線通信を実現しました。③弊社従来器と比較して最大2倍の感度アップをはかり、高感度センサーの搭載を実現しました。④高精度モードを搭載しており、距離分解能は弊社従来器と比較し4倍となっており、より精度の高い相関処理を実現しました。ハイドロフォンセンサやマイクroフォン高感度センサを仕様することにより、小口径から大口径までの漏水に対応しております。	担当部署 営業本部 電話番号 03-5825-2588 E-mail e-honbu@fujitecom.co.jp	(パネル展示) 提案番号16 (クラウド展示) 提案番号17
17		地理統合型プラットフォームCappa-view	IQGEO Platform Cappa-viewはクラウド型のモバイルを前提としたCPSプラットフォームです。webブラウザ上で稼働することから、モバイル端末の機種やOSに依存することなくお使いいただけることが特徴です。開域網SIMカードやセキュリティ証明書を設定することで端末のセキュリティ対策も万全です。現場パトロールや各種立会業務では、マッピングシステムや各種業務系システムから取り込んだ管路情報や竣工図等のファインリングデータをモバイル端末で呼び出すことができ、あらかじめ設定した各業務のチェックリストに現場で直接入力することができます。これらチェックリストはコンフィグ機能によりプログラミングなしで簡単に設定、変更できることも将来への拡張対応を容易にします。またクラウドシステムなので入力情報は全端末がリアルタイムで共有することができ一元的な情報管理・共有・活用が可能となります。Google Mapsをベースにしていることからストリートビュー上にパトロールポイントを表示することができルート検索も可能です。モバイル端末のカメラ機能で撮影した写真をマップ上に保存、共有することも可能で、災害時の迅速な状況把握を可能にします。		(パネル展示) 提案番号14 (クラウド展示) 提案番号15
18		CYDEENフィールド作業支援サービス	フィールド作業支援サービスは、管理者と現場作業者をリアルタイムにつないで、進捗管理や作業支援が行えます。スマートデバイスを活用し、フィールド作業の「品質向上」「省力化」「見える化」を支援します。 フィールド作業支援サービスは、以下のニーズにお応えします。 (1) 現場の映像を見ながらリモートでサポート 映像・音声を用いてリモートで作業指示が行えます。最大で20人同時接続が可能、撮影した写真にスクリーンショットをして指示することもできます。 (2) 現場作業者の負担を軽減 「事前の資料印刷」「現場到着時の電話連絡」「作業完了後の報告書作成・送信」など、現場作業者の事務作業を効率化し、負担を軽減します。 (3) 属人化を防ぎ作業の標準化を実現 作業内容をコンテンツ化することで、状況に応じた作業支援・作業誘導が可能になります。作業内容を動画で確認することもできます。 (4) 作業進捗の「見える化」 管理者画面では、担当者ごとの作業進捗率や作業完了時刻がリアルタイムに更新されます。作業結果や現場で撮影された写真もすぐに確認することができます。		(クラウド展示) 提案番号20
19		CYDEEN維持管理システム	維持管理システムは、設備の台帳管理、現場作業の効率化、予備品管理、設備稼働データの管理や予算管理など保全業務のPDCAサイクルを支援します。 維持管理システムは、以下の特長を有しています。 (1) 保全計画の立案から点検・故障履歴など設備情報を一元管理 設備・機器・部位当の構成情報に合わせて設備データを階層立てて管理できるため、データの一元管理ができます。図面や取扱説明書などの設備に関するドキュメントやファイルを管理できます。 (2) タブレットを活用し、点検票記入作業の手間軽減 タブレット機能を利用することで、点検リストの入力チェック、トレンド表示や写真撮影など、現場での作業記録の精度向上および作業効率化を実現します。 (3) システムの柔軟性・拡張性 台帳や管理項目を業務に合わせて変更できるため、新しい業務の追加や変更などが発生した場合でも、柔軟に対応することができます。 他システム連携も対応が可能です。		(クラウド展示) 提案番号19
20	株式会社日立システムズ	CYDEEN水インフラ監視サービス	CYDEEN水インフラ監視サービスの一つである、水圧監視サービスは、配水小管に水圧監視装置を設置し、設置エリアにおける水圧の変化をリアルタイムで監視するサービスです。 クラウド技術を活用することで遠隔監視が可能となり、水圧をリアルタイムで監視することができます。そのため、水道管の異常を早期に発見することが可能となります。事故や災害時に水道復旧が必要な箇所の特定に寄与することで、現地での作業負担の軽減が期待でき、水道復旧に要する時間を大幅に削減可能であると見込んでいます。 水圧監視サービスは、省スペースで消防活動の支障にならない設置が可能、かつ、最低限のメンテナンスで長期運用を実現させることを目標に開発し、以下の特長を有しています。 (1) 既設設備の変更不要 土工事が不要なため断水することなく、既設の消火栓室内などの補修弁上に取り付けが可能です。 (2) 通信工事が不要 蓋を開けたマンホールの中から無線通信が可能です。通信にはマルチキャリア対応セルラーLPWAを採用しています。 (3) 電源設備が不要 市販電池での駆動が可能で、3年以上の電池寿命を確保しています。	担当部署 公共・社会営業推進部 営業企画グループ 電話番号 080-8840-1778 E-mail kenichi.sampef.fq@hitachi-systems.com	(クラウド展示) 提案番号21
21		CYDEEN劣化要因分析支援サービス	劣化要因分析支援サービスは、設備機器に関する既存の維持管理データ（諸元、点検、補修データなど）をAIで分析し、施設や設備の損傷状況、健全度を予測することでインフラ施設や設備の点検・補修計画の立案を支援するサービスです。 劣化要因分析支援サービスは、以下の特長を有しています。 (1) AI（機械学習）による分析で、点検・補修計画の立案時間を削減 人が行っていた点検・補修優先箇所の優先順位付けを、AI（機械学習）を利用した損傷予測や健全度予測により省力化することができます。 また、分析した結果を活用することで、効率的な点検・補修計画の立案が可能です。 (2) 施設や設備を限定せず、さまざまな分野で分析可能 これまでお客さまが蓄積してきた維持管理データ（諸元、点検、補修など）があれば、インフラ施設や設備の種類を問わず劣化要因分析が可能です。 (3) 損傷状態を「見える化」し、点検・補修箇所の見落としを防止 施設の劣化状態をグラフィカルに表示することで、点検・補修優先箇所の見落とし防止や点検・補修の優先順位付けに活用することができます。		(クラウド展示) 提案番号22
22		ドローン運用統合管理サービス	(1) ドローンを業務で活用する際の撮影方法やデータ活用方法などに関するコンサルティングを実施します。 (2) 業務活用の目的に応じた『空撮からデータ加工、AIによる劣化抽出、画像データをお客さまが効率的に活用いただくクラウド環境の提供』まで、ドローンを活用したお客さまの業務効率化と安全性向上をトータルでサポートします。 (3) 当社での空撮代行の他、屋内や飛行が難しい箇所の人手での撮影にも対応します		(クラウド展示) 提案番号18
23		AI/機械学習による「水道管劣化予測・影響度評価・更新計画策定」サービス (Job Planner)	AI/機械学習による水道管劣化予測サービスでは、水道事業者様が保有する水道管設備データおよび漏水データと、独自の環境データを用いて管路ID毎に将来の破損リスクを予測します。影響度評価では漏水時の被害を想定したビジネスリスクをマップ上に可視化します。これらの予測結果を用いて「Job Planner」を活用することにより、自動で管工事における更新計画を複数立案します。これらのサービスを利用することによりメンテナンスコストの削減を可能にし、現在水道事業者が抱える水道管の老朽化対策や技術者不足といった課題の解決に貢献します。		(パネル展示) 提案番号17 (クラウド展示) 提案番号23
24	株式会社ミライト・ワン	水道管施工管理システム (photoruction water)	水道管工事に特化した現場で使える施工管理システムです。多くの導入実績を持つ建設業向けの施工管理システム「photoruction」をベースに、配管詳細図の作成や継手のチェックなど水道管工事に特化した機能を搭載しています。現場にしながら端末上で布設する鉄管を選び、継手チェックを実施した記録が帳票へ連動する為、従来現場作業後の夜間や休日に行っていた書類作成の効率化を図ることが出来ます。また、水道管工事や漏水修繕時に本システムを用いることで、情報の取得と管理を一元化することが出来ます。	担当部署 みらいビジネス推進部 電話番号 06-6155-5919 E-mail mb_smart_infra@miraite.co.jp	(パネル展示) 提案番号18 (クラウド展示) 提案番号24

25	株式会社クボタ	水道管路工事の設計・施工を効率化するソリューションのご提案	水道管路工事において、設計から竣工に至る関連業務を自動化する複数のクラウドシステムを提供し、それらを一貫したシステムで連携してデータを共有・活用することにより、工事に関する一連の業務の効率化を図る。 設計段階では、管路布設計画線や土被り等の情報入力により、適切な直管や異形管の選択・配置、一体化検討を行う自動配管設計が可能となり、土工断面等の入力により自動積算が可能となる。 施工段階では、配管設計結果に基づき、工事可能時間、使用量機や作業員数等の情報入力により、適切な日進量等を計算して工程計画を自動作成するとともに、必要資材を自動で算出できる。また、計画管路を自動的に取り込んだ上で、接合チェック情報等の携帯端末への入力により、継手チェックシートや工事日報等の管理書類を自動作成する。加えて、工事の進捗を工程計画に、配管の変更点を配管設計にフィードバックし、施工実績データを自動作成する。 更に、設計、施工計画、施工実績データから、図面等の竣工図書を自動作成できる。	担当部署 パイプシステム事業推進部 新事業推進課 電話番号 03-3245-3150(代表) E-mail kbt_g.pskouhouhp@kubota.com	(クラウド展示) 提案番号26
26		弁類を活用した管内センシング及び状態把握システム	水質の改善、堆積物の最小化、異常発生時の早期検知を実現するためには、管内情報をきめ細かに把握し、それらのデータを活用してより高精度に管内状況を把握する必要がある。そのため、従来から水使用量のデータをもとに管網解析を行うことにより、流向・流速等の管内状況の予測が行われてきた。しかし、多くの管路では流量計等のセンシング機器の設置数が十分とは言えず、予測精度の面で課題があった。クボタグループでは、各種センシング機器（流向・流速、水圧、濁度、残留塩素濃度）を搭載した仕切弁やバタフライ弁等を開発・提供することにより、多点での管内情報把握に貢献する。取得データは、バルブボックス内に設置する通信端末からクラウドサーバに送信し、マッピングシステム上で可視化することによりPC等でリアルタイムに一元管理することができる。急激な状態変化時には異常アラートを発信させることも可能である。現在、取得データを管網解析によるシミュレーションに合わせ込むことで管内状況の予測精度を高め、水質改善や堆積物除去等の計画に適用できるよう「弁類を活用した管内センシング及び状態把握システム」に発展させることを検討している。		(クラウド展示) 提案番号25
27	株式会社メタウォーター	水道施設台帳管理システム	水道施設台帳システムは当社クラウドサービスとして、水道事業者様の保有する設備や機器の適正な運用管理およびアセットマネジメントを支援することを目的に提供しています。 設備や機器の仕様等の諸元情報や関連する図書類、工事や維持管理情報などを一元的に管理するとともに、水道事業者様のアセットマネジメントを支援するシステムとして、「台帳管理」「維持管理情報管理」「診断・分析」「計画管理」「ドキュメント管理」の各種機能を有しており、設備の劣化状況や健全度を可視化したり、更新費用のシミュレーションや更新計画策定が可能となります。 また、タブレット等の携帯情報端末を用いて日常点検業務を効率的に行えるSmart Field Serviceでは、現場にて点検結果を入力しクラウドデータセンターへ蓄積するなど、現場作業の効率化と情報の共有化が図れます。	担当部署 営業本部 全国営業支援部 電話番号 03-6853-7341 E-mail nagai-takuma@metawater.co.jp	(クラウド展示) 提案番号27
28	東京ガスネットワーク株式会社	eガスノート	業務の効率化が求められている中、ICTの導入は有効な打ち手となります。 「eガスノート」は、現在紙帳票を使用している施設点検業務を、スマートフォンやタブレット端末を用いた電子化を実現できるシステムです。 ・概要：施設点検業務の電子化を実現できるシステムです ・できること：点検業務の電子化、決裁の電子化、点検内容の写真・動画撮影及び保管、ユーザーによる帳票のカスタマイズ、GoogleMAPなどとの連携 等 ・特長： ①業務効率化（ペーパーレス化・直行直帰の実現） ②人材育成（現場で作業マニュアル、検査ポイント確認可能） ③保安向上（点検データの一元管理） ・適用範囲：帳票作成が発生する業務全般。例えば、制水弁、消火栓や水管橋の点検、機械設備、電気設備等、浄水場の施設点検 等 ・ご提供方法：クラウド構成、オンプレミス構成	担当部署 技術革新部 新事業・DXG 電話番号 03-5400-7579 E-mail contact_gbs@tokyo-gas.co.jp	(パネル展示) 提案番号19 (クラウド展示) 提案番号28
29	福井コンピュータ株式会社	VR技術の活用でリアルな仮想現実を体感し、状況を把握することが可能となる「TREND-CORE VR」	「TREND-CORE」で作成した3次元モデルデータを利用し、ヘッドマウントディスプレイを装着することで、まるで工事現場に立っているかのようなバーチャルリアリティ体験を実現します。今までにはない視点で現場を見ることで、安全・品質・工程等の各面での確認業務に利用が見込まれます。 【活用例】 ・受発注者間の打合せ、中間検査業務 ・安全確認、施工方法や施工計画の確認業務 ・遠隔検査検討、遠隔現地調査、遠隔事前協議など様々な業務を支援致します。	担当部署 総合案内 電話番号 0570-039-291 お問い合わせフォーム https://hd.fukuicompu.co.jp/form/form.php?form_id=709	(発表) 提案番号5 (クラウド展示) 提案番号29
30	株式会社コア	準天頂衛星「みちびき」の高精度測位を活用した水道設備位置管理技術「QzLocation」	センチメートル精度で座標値を測定できるCLAS測位により、水道設備位置を正確に記録。正確な位置情報を使って、水道設備への作業員のスムーズな誘導が出来ます。スマートフォンアプリで座標値入力作業をボタン一つで出来るようにし、作業者の負担軽減や入力ミスを抑制します。 正確な位置情報を使って、地図アプリ上に水道設備を表示して、グラフィカルに設備情報を閲覧することができます。	担当部署 GNSSソリューションビジネスセンター 電話番号 044-989-5115 E-mail gc-sales@core.co.jp	(発表) 提案番号7 (クラウド展示) 提案番号30
31	IQGeo Japan株式会社	IQGeo地図プラットフォームでの埋設物調査の受付	・工事会社などはWeb画面で申請内容を記入し、地図上で管路の位置や図面を確認できます・現地での立ち会いなども紙図面ではなく、タブレット端末上で位置を確認することができます・他インフラ企業の埋設情報があれば、水道管と合わせて地図上に表示し埋設状況が把握できます ・全体の受付状況を地図上で把握することで、より効率的な手続きを行うことができます	担当部署 セールス 電話番号 03-5957-5347 E-mail info.jp@iqgeo.com	(パネル展示) 提案番号22 (クラウド展示) 提案番号33
32		モバイル端末を活用したIQGeo地図プラットフォームの樹木管理	・現地に向かう前に連絡を受けた内容を地図上に登録し、現場の復旧作業の迅速化を図ります ・PC、タブレット、スマートフォンでも直感的に簡単に情報の入力ができます。・人事異動での操作の引き継ぎなどに時間をかけずに利用できます。 ・植生情報など各種情報を管理者設定画面でノーコード・ローコードで追加変更が可能で、業務上の運用の手間がかからず利用できます。		(パネル展示) 提案番号21 (クラウド展示) 提案番号32
33		漏水事故などのIQGeo地図プラットフォームでの迅速な情報収集	・一般の方の通報内容をリアルタイムで地図上で把握し関係者と連携します ・どここの管路で被害があったのか地図上で即座に確認し、復旧作業の迅速化を図ります ・自然災害や漏水事故などの情報をリアルタイムで地図上で把握できます・早い段階で計画が可能となり、早期復旧につなげます ・IQGeo Platformでは、複数の防災SNS分析サービスとの連携を実証済みです		(パネル展示) 提案番号20 (クラウド展示) 提案番号31
34	ジャパン・トゥエンティワン株式会社	衛星画像で空から漏水を検知「UTILIS (ASTERRA)」の新サービス「マスタープラン」とは	人工衛星より取得する衛星データを、期間を空けて、2度取得。漏水可能性エリアの重なりや集積という変状を解析し、管路の5段階リスクレベルを判定する実測サービス。	担当部署 豊橋本社 電話番号 0532-66-0021 E-mail utils@japan21.co.jp	(発表) 提案番号4 (パネル展示) 提案番号23 (クラウド展示) 提案番号34
35		アプリ&インターフェース「U-view・U-Collect」	U-View：漏水可能性エリアの位置情報を確認できる地理ソフト。調査時々の健康等、給水区域内の傾向把握に役立ちます。 U-Collect：紙ベースで、長期保管が必要な、音調による漏水調査記録。衛星データの解析により確認された、漏水箇所ごとの調査結果（位置情報・管種や画像）を、専用のアプリケーションで、入力。音調調査の進行管理を行いながら、WEBソフト上で、管理保管が出来ます。ペーパーレス化・デジタル化が実現します。		(パネル展示) 提案番号24
36	株式会社RISE	ドローン	ドローンによる見えない部分の点検。赤外線カメラでの調査（浮きや漏水調査）・クラック調査（AI診断）・構脚の調査・害鳥駆除（鉄部に対して痛まないように）調査方法や駆除の方法についてはお問い合わせください。	担当部署 営業部 電話番号 072-368-6377 E-mail toikawa@rise-drone.co.jp	(クラウド展示) 提案番号35
37	一般社団法人日本建物配管調査診断協会	SPT配管診断	当技術は、配水管、水管橋、業注配管や水道施設の建物配管などを非破壊検査（X線透過検査・内視鏡検査など）を活用し、特許を取得した画像診断技術で正確に配管の腐食劣化の状態を把握する技術です。建物配管であれば完全隠蔽部以外（RC躯体内など）は撮影可能で、地中の埋設配管であれば、掘削して配管が露出した状況で撮影は可能です。診断実績のある口径サイズはφ15～300までで、腐食減肉により肉厚が薄くなった残存肉厚を画像解析技術（特許技術）を活用して解析精度5%f.s.で算出することが可能となります。（サイズや管内充填物により精度は変動します）これを利用することで、劣化した配管だけを改修、更新するコストパフォーマンスが高い中長期保全計画の策定が可能となり、配管更新の最適時期の見極めが図れます。	担当部署 理事 電話番号 050-3465-6814 E-mail info@japan-plumbing.org	(クラウド展示) 提案番号36
38	ヴェオリア・ジェネッツ株式会社	Hubgrade（水道オペレーションのスマート化アプリケーション）	「Hubgrade」はデータ管理と運転の最適化を実現するためにヴェオリアグループが構築した、上下水道事業の維持管理に特化したデジタルソリューションです。ヴェオリアグループが受託する維持管理業務の効率化および強靱化のために、事業の特性とニーズに合わせて必要なアプリケーションを組み合わせ、プラットフォームとして提供します。モニタリングに活用可能なアプリケーションは事業者ご担当者様にも活用いただくことで、事業の透明性を確保します。 施設や機械設備の遠隔監視を行うアプリケーション（N-Share）は、従来中央監視室等でしか確認できなかった処理プロセスや設備の稼働状況を、PCやタブレット端末などを用いて場外からも遠隔監視可能にします。 下水処理プロセスのオンラインチューニングを行うアプリケーション（Performance）は、デジタルツイン技術に基づき、AIがリアルタイムの流入条件に応じて最適な運転制御値を導き出し、機械設備の運転に反映します。既存施設の処理容量を最大限活用し、消費電力量及び薬品使用量を可能な限り低減した運転が可能になります。	担当部署 官需事業開発本部 電話番号 070-1242-7245 E-mail yoko.suda@veolia.com	(パネル展示) 提案番号25